

NPO法人 男女共同参画ネット尼崎

参画 NEWS

2024.1 Vol.59

- 有園博子基金助成報告
- ジェンダー&アートツアー報告
- <予告>あまがさき女性フェスティバルに出店
- 「困難な状況を抱え自立をめざす女性のための就労応援フェア」報告
- 「つながり・サポート事業」中間報告
- あまがさき女性フォーラム報告
- 冬の講座・セミナーのご案内



有園博子基金助成事業報告

男女共同参画ネット尼崎は、2003年の法人設立から約20年が経ちました。主な事業として、尼崎市女性センターの管理運営を行ってきました。

2021年度から、有園博子基金助成金を受けて、法人としての基盤を強化するために各種研修参加や、静岡市女性会館(指定管理者男女共同参画ふおーらむ静岡)への視察や、組織基盤強化を考えるためのワークショップの開催など行ってきました。2023年度は「地域で頼られる法人となるための『組織基盤強化』」を掲げて申請しました。今年度を含め3年間助成金を受け、助成元の(公財)ひょうごコミュニティ財団から伴走支援を受けてきました。今年度でこの助成は最終年となります。

この助成を受け女性センター職員と法人事務局が、法人と女性センターとの関わりやあり方についてと共に考える場を持てたことで、成果が見えはじめています。一番大きな成果は、若手職員が、思った以上に力をつけていることです。もっと女性センターに若い人が来て欲しいとか、情報発信するために、ミニ啓発絵本の作成と配布を行うなど、次々と提案をしてくれています。また、静岡女性会館への視察や近隣の男女センター職員との交流などにより、他施設での取り組みから刺激を受けたり、他施設で働いている職歴の若い職員との交流会から新たに事業のアイデアも生まれています。

組織基盤強化について継続的に取り組むために、伴走支援者である河合将生さん(office musubime)に理事会に参加いただき、これまでの取り組みなどについて理事との意見交換を行いました。

今年度は、これまでの積み重ねてきたことを深めて、さらなる成果を得たいと思っております。

年度内に、ふおーらむ静岡や男女共同参画おおたと、共通課題である人材確保・育成や、行政とのあり方についてオンラインで意見交換の場を持つ予定です。

来年度は、次の指定管理の応募も視野に入れながら、事業に取り組んでいきます。会員・賛助会員の皆さまのご意見や、関連機関との意見交換などを行いながら、法人としてのあり方や取り組むべき事業について考え、地域になくてはならない法人を目指していきたいと思っております。(三谷)

<2023年度 仁科あゆ美選考委員による講評>

申請法人は、尼崎市女性センター・トレピエを拠点に指定管理事業と自主事業を展開し、地域に根差した活動を18年間にわたって継続されてきた。申請法人が抱える組織基盤強化と人材育成、次世代への理念継承に関する課題は、各地の女性支援分野等で活動する団体からも聞かれるもので、特効薬はないが、まさに今、各団体内で取り組まれているものである。実現され、先駆的モデルになられることを期待している。

当助成金を継続活用により、全国規模の研修等の参加や他地域の団体やスタッフとの情報交換・交流等の中で、スタッフがモチベーションを高めることにつながり、日常の業務遂行に効果が表れてきたことは評価できる。今後も継続的に取り組むためには、研修や視察等の人材育成にかかる費用等の持続的な獲得・捻出方法をご検討いただきたい。

申請法人がこれまでに蓄積されてきた実績やネットワークに加えて、地域の新たな機関・団体等との連携をより一層意識され、併せて継承いただきたい。地域でアテにされる法人として活動を維持・発展していかれることを願っている。

第10回 ジェンダー&アートツアー報告

「ジェンダー・アートツアー」に参加して

講師の中西美穂さん(文化研究)の「視点と素材に注目して鑑賞してください。でも自分が観たくなる、という感情も大切に」の言葉をうけて、でも考えながらの鑑賞は、ほぼ初体験でした。

吉本直子「命をうたう」では、着古したシャツの「壁」は温かみのある優しい白壁、という印象を持ちましたが、これだけのシャツを集めるのはさぞ大変だっただろうなと思い、着ていた一人一人が迫ってくるような気持ちになりました。前に置かれた椅子に座って静かに向き合うものは何かしら、と考えさせられました。



「人間って何?」と深く考え、答えを追求し、素材を選び分けること、それは芸術家の直感に負うところが大きいとは思いますが、でも長い時間をかけ精魂込めた作業を経なければ、表現したいものは、見る人に伝わらない。造形ってすごく労力や根気が必要なんだ、と思いました。白いシャツを樹脂で固め、「棺」を表す作品。伸びたシャツの袖は骨格のようでもあり、何かを求める腕のようでもありました。

遠藤薫さんの「美術の中の形～手で見る造形」では、ごつごつした丹波土の塊で表現された、胎児。この土の塊にふれていると、人の命が感じられました。麻布の作品もとても印象的。目が荒くてごつごつしているが、とても丈夫な麻が好きなのは、ついつい触れてみたくなりました。

ジェンダーという事を考えると、命、自然を深く掘り下げざるを得ない女性の生き方と日々の生活、それが素材選びや造形の中に現れているのでは?と感じました。しかし、今回のアートツアーのネライに追いつくにはまだまだです。(高島)



会場：兵庫県立美術館

日時：11月7日(火)14:00～

鑑賞展示：☆注目作家紹介プログラム—チャンネル14 吉本直子

☆2023年度コレクション展Ⅱ 小企画

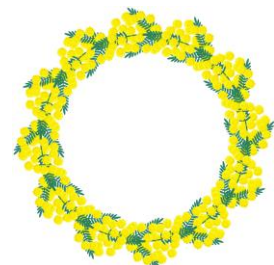
「美術の中のかたち—手で見る造形 遠藤薫展」

<予告>あまがさき女性フェスティバル(3月2日(土)、3日(日))に出店

ワークショップ：○△□を描いたり、貼ったりしてみよう

販売：手作りアクセサリ、新品の洋服、古着

♡ たくさんのご来場をお待ちしております ♡



「困難な状況を抱え自立をめざす女性のための就労応援フェア」報告



10月19・20日(木・金)10:30～16:00の2日間で実施し、合計19名が利用されました。「就職支援グッズの提供」「女性の悩み相談」「暮らしの悩み相談」「就労相談」を用意し、自身が必要とする支援を選択できるようにしました。

利用者からは、「親身に相談にのってもらえた」「市外から参加したが、面接に最適な一着が見つかった。就職活動をがんばりたい」「子どもの面倒もみてもらい安心して選ぶことができた」等の声をいただきました。言葉

数が少なかった方も、お話ししていく中で、笑顔がみられ女性のエンパワメントに繋がったと実感しました。これらひとえに、ご寄付頂いた皆さまのおかげと感謝申し上げます。

これからも、困難を抱える女性に寄り添い、頼れるセンターを目指してまいります。スーツの提供は随時行います。また、寄付も引き続きお願いしております。(下尾)

*2023.10.18(水)の毎日新聞に就労・自立支援事業が掲載されました
*2023.10.19(木)NHK「Live Love ひょうご」では就労応援フェアの様子が報道されました
参加者の中には「記事・映像をみてきました」という方もおられました



2023年度「つながり・サポート事業」中間報告

「地域女性活躍推進交付金」で行うつながり・サポート事業の要として女性のための居場所「ふらっとカフェ」が、第2日曜日、旧カフェの場所で本格的に始動しています。最初の一時間はお楽しみワーク、場が温まったところで「初めまして」の挨拶からお茶とお菓子で楽しいおしゃべりタイムに進みます。

毎回10～15人のご参加があり、ワークショップでは、レジンでアンブレラマーカづくり、椅子ヨガ、アロマグッズづくりを行いました。また、助産師さんが在駐して下さるので、気軽に身体の悩みも相談できます。今後も、スマホで撮るおしゃべり写真、コラージュ、押し花アートなどワークショップを含め気楽に集える交流の場と女性センターの資源を活用したお役立ち情報や生理用品の提供などを行います。

今年は2か所の施設に出前の居場所事業も行いました。孤立している女性に向けて女性センターで実施する居場所を組み合わせながら、寄り添える事業を継続していきます。(宮下)

*次回は1月14日(火)13:30～ スマホで簡単 おしゃれフォト講座です



アンブレラマーカー



椅子ヨガ



バスボム・アロマスプレー



出張居場所

2023 あまがさき女性フォーラム報告

11月26日(日)午前に3つのセミナー、午後は全体会・映画・アフタートークを開催しました。

セミナー1「性の多様性について学びましょう～本当の私を知ってほしい～」では、河上リサ監督ショートムービー「鏡をのぞけば～押された背中～」の鑑賞後、監督と講師の井餘田みのりさんから当事者の生きづらさが語られました。監督の「LGBTQ 当事者でなくても、置かれている環境や立場の違いにより誰もがマジョリティとマイノリティを行き来する。だからこそ、それぞれの思いを共有することができる」という言葉に共感し、映画に込められた思いを強く感じました。

セミナー2「知っておきたい！刑法(性犯罪規定)改正のポイント～「性的同意」ってなんですか？～」では、弁護士和田谷幸子さんより、今回の刑法改正(性犯罪限定)のポイントについて詳しく説明がありました。「刑法改正に大切なのは被害者の勇気ある訴えとそれに応える運動の力です。性暴力を決して許さない、見て見ぬふりをしない、正しく知ること、私たちにもできる事がきっとあるはずです。」と力強い言葉で締めくくられました。

セミナー3「Let'sトライ 親子 de 手話～ダイバーシティな社会を目指して～」では、尼崎手話指導講師団所属講師より、挨拶や氏名、数字などの手話を教わり、楽しみながら「にじいろ(絢香)」を1曲手話でマスターしました。日常生活で、耳が聞こえないとどのような時に困るか等を想像して、ダイバーシティな社会を作っていくために、小さな気づきの積み重ねと支え合いが重要だと感じました。

午後、全体会で各セミナーをふり返り共有しました。

映画「ビリーブ～未来への大逆転～」は、実在する女性をモデルに描かれていて、1970年代のアメリカの男女不平等な社会へ立ち向かう主人公の諦めない姿が印象的でした。ジェンダー平等は弱者とされる女性に必要なものと思われがちですが、男性にも必要だということがこの映画を通して多くの人に届いたのではないかと思います。作中何度も、男性だけが優位に立つ描写がありましたが、50年経った今でも同じことが起きています。ジェンダー平等の実現に向けて、一人ひとりの意識で社会を変えていく事を切に願います。

同時に27日間、開催したギャラリー展示も好評でフォーラム事業にはのべ926人のご参加がありました。

募った募金3万円は、性暴力被害者支援センター・ひょうごのサポートパックに寄付いたしました。あたたかいご支援をありがとうございました。
(下尾・岡崎)



セミナー1



セミナー2



セミナー3

2024年 冬の講座・セミナーのご案内

	講座名・内容	開催日	受講料
男女共同参画事業	読書でリラックスタイム	毎月1回 第4金曜日 10:00~12:00 1月・3月は第4土曜日です	無料
	※絵本でほっこりタイム	毎月1回 第3火曜日 10:30~11:30	250円
	市民企画講座 神崎遊女塚伝説と女性の生き方	1月12日(金) 13:00~15:00	無料
	*もしもに備える!マイ避難カードを作ろう	1月30日(火) 10:30~11:30	無料
	ハートフルシネマ巡回映画会 心の性を生きる	2月9日(金) 10:00~11:30	無料
	*2024あまがさき女性フェスティバル	3月2日(土) 10:00~17:00 3日(日) 10:00~16:00	無料
	フェスティバル記念講演会 「六甲ウイメンズハウス」	3月3日(日) 13:30~15:00	無料
	*女性の居場所「ふらっとカフェ」	毎月第2日曜日 13:30~16:00 出張居場所は随時	無料
	※*デートDV出前講座 お互いを大切にしている関係とは	随時(尼崎市立中/高 10校は無料)	有料
就労支援事業	困難な状況を抱える女性のための就労支援グッズの寄付を募る	随時	
	個別就労相談付き自立をめざす女性のためのパソコン基礎講座	1月25日~2月29日(木) 全6回 9:30~12:30	テキスト代 2,200円
	※*困難な状況を抱える女性のための就労支援グッズの提供	随時	無料

* あま咲きコイン事業 SDGs ポイント対象講座ではありません
※の講座には保育はありません

おねがい!!

特定非営利活動法人男女共同参画ネット尼崎は、男女平等推進や子どもの権利尊重をテーマに活動を行っています。ぜひ、活動趣旨に賛同いただき、会員になってください。

♥ 参画ニュースのアンケートにご回答いただき感謝です。ご意見をどうぞお寄せください。

<https://forms.gle/1MBZ8FvXqeFwTJ7C7>



＜法人沿革＞

2003年10月 NPO法人格取得
2004年7月 指定管理者として尼崎市女性センター～現在の管理運営を行なう(第5期)
2008年1月 子育てキーステーション開設
～2012年3月 子育て支援活動を行なう

＜会費＞

正会員:入会金1000円 年会費3000円
賛助会員:個人1口2000円/年
団体1口5000円/年

郵便振替 00920-1-268479

特定非営利活動法人男女共同参画ネット尼崎

発行日 2024年1月発行
発行者 特定非営利活動法人男女共同参画ネット尼崎
尼崎市潮江3-4-18 TEL 06-6499-5486
<https://sankakunet-amagasaki-npo.com/>